



平成28年12月12日

12月15日、越智学長らが福島県知事を訪問 福島県双葉地域の診療体制構築に協力

広島大学は本年4月、福島県立医科大学からの協力要請を受けて広島大学病院に「福島医療支援センター」を設置しました。10月から内科医師1人が福島県立医科大学に出向し、「ふたば救急総合医療支援センター」を活動拠点に、福島県双葉地域の診療体制構築に協力しています。

ふたば救急総合医療支援センターは、原発事故で被災した福島県双葉郡及び周辺地域の医療体制の確立と福島県復興の要として、本年4月に福島県立医科大学附属病院内に立ち上げられました。双葉地域の「二次救急の確保」と「広域的な総合医療の確保支援」を図ることを目的としています。

12月15日、広島大学の越智光夫学長と神谷研二副学長（平成23年4月より福島県立医科大学副学長を兼任）が福島県庁を訪問し、内堀雅雄知事、福島県立医科大学の菊地臣一理事長、谷川攻一副理事長（前・広島大学病院高度救命救急センター長）と懇談します。これに合わせて出向している医師を激励する予定です。

被爆地の大学として広島大学は、今後も引き続き、福島県立医科大学と連携して福島復興支援と住民の皆さんの命と健康を守る取り組みに協力してまいります。

広島大学は、国の緊急被ばく医療の拠点である三次被ばく医療機関として、平成23年3月の東日本大震災及び福島第一原発事故直後から、継続して緊急被ばく医療チームや放射線の専門家ら延べ1300人余りを派遣。同年4月には福島県立医科大学と連携協定を締結するなど、医療支援を中心とした被災地の復興支援活動に取り組んでまいりました。

また本年4月には長崎大学を加えた3者でネットワーク型の「放射線災害・医科学研究拠点」を設置し、福島復興の学術基盤を長期的に確立するとともに、放射線に関連する社会的貢献をさらに進展させることを目指しています。

12月15日の福島県庁での主なスケジュールは以下の通りです。

16：10 内堀知事と懇談（知事室）

懇談終了後、ぶら下がり会見（本庁舎2階）

【お問い合わせ先】

副学長（復興支援・被ばく医療担当） 神谷 研二（かみや・けんじ）

Tel : 082-257-5842 FAX : 082-257-5844

E-mail : kkamiya@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）